授業Ｂ

◇ねらい

　　郷土に尽くし伝統と文化を育てた先人の努力を知り、郷土を愛する心情を養う。

４　主として集団や社会とのかかわりに関すること

　　（７）郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心を持つ。

◇準備するもの

　　○鈴木利貞さんの顔写真

　　○明治時代の座間の様子がわかる写真

　　○「郷土の先人に学ぶ」

　　○ワークシート

◇授業の実際

　※授業前に、郷土の先人に学ぶを配る。（先に読み通さなくてよい）

①「郷土の先人に学ぶ」の表紙を見て考える。

座間市の良さ　　「郷土」「先人」とは

②鈴木利貞さんについて学ぶことを知る。

　　　　・鈴木さんの写真

③P11までの範読を聞く。

④鈴木利貞さんが中学（現在は高校）を退学するまでのことを知る。

・体が弱い。ガキ大将が怖い。本が好き

・熱心に勉強する。中学に進学する試験を受け、一学年上の学年に編

入。

・入学した年の１２月には、脚気のため自宅療養になり、その後退学。

⑤鈴木利貞さんが育った明治時代の座間の様子について知る。

　　　　※当時の座間村の様子の写真

　　　　・ほとんどの家が農家

　　　　・子どもたちも農家の手伝い

　　　　・学校に行けないこともあった

⑥鈴木利貞さんの日記や言葉から、利貞さんの願いや夢について考える。

この村の現状を変えていくためには、時間がかかっても小さな子どもたちを教育して、村のためになる思いやりを持った人に育てていくことが大切である。君たちは進学して村を出て行ってしまう。村に残るのは自分だけである。残った自分が子どもたちを立派に育ててみせる。

・小さな子どもたちを教育して、村のためになる思いやりを持った人

に育てていくこと。

・子どもたちを立派に育てること。

夜のお話し会での利貞の言葉

　「話してあげる代わりに（　　　　　　　　）」　　※けんかをするな

　　　・みんなが喧嘩をしないで、なかよくすること

⑦鈴木利貞さんに教わった「幼年会」の子どもたちが作った約束について考える。

　　　　・「柿の木の下の誓い」を考えて、ワークシートに書く。

これから皆して仲よくして、家の方で遊ぶ時にも、学校で先生の言われる通りにしよう。

（１）

（２）

（３）

（４）

　　　※　（１）大きい者は、小さい者を大切にしてかわいがること。

　　　　　（２）小さい者は、大きい者の言うことを聞くこと。

　　　　　（３）けんかや悪いたずらをしないこと。

　　　　　（４）悪口は言わないこと。

 　⑧「座間っ子八つの誓い」と比較する。

⑨Ｐ11～17までを読む。（教師の範読を聞く。）

⑩学習感想を書く。

⑪学習のまとめをする。

・感想を発表する。

・続きは朝読書で読むように伝える。